

ZERO PUTTY

ゼロパテ

水性パテ

今まで水性パテでは困難とされてきた、**外壁の仕上げパテ**を可能に。

ゼロパテは水性でありながら、
ポリパテ並の耐水性・付着性を有していると共に、
ポリパテには無い曲げ強度(可とう性)にも優れた
性能を合わせ持つ、いままでにない万能パテです。

Point 1

環境に優しくて、
安全で安心

Point 2

各部材に対し優れた
付着性・耐水性

Point 3

従来の水性パテに比べ
乾燥が驚異的にはやい

Point 4

ほとんどの上塗り塗料が
塗布可能(溶剤・水性塗料)



■用途

- ・ 研磨ができるゼロパテとヤセが少なく速乾ノンブリードのウレタンパテとの併用により、サイディングボード等の外装材の目地部をワレに強く平滑にすることができ、薄膜塗料を塗布しても目地部が目立ちません。
- ・ 石膏ボード等の内部目地のワレに強い仕上げ用パテとして、またワレに対する補修パテとして
- ・ 金属部、木部、モルタル面の不陸調整または、仕上げ用パテとして。

■種類及び荷姿

- ・ 厚付け用：4 Kg (ペール缶) 1ケース4缶入り… 1回の塗り厚 2mm～3mm

■注意

- ・ 0℃以下でのご使用は避けて下さい
- ・ 完全乾燥後は塗膜強度が高くなりますので、極端に研磨性が悪くなります。
研磨は、指触乾燥後(約1～2時間)に行うことをおすすめします。
- ・ 上塗り塗料はほとんどの塗料に対応できますが、強溶剤塗料の場合は試験塗りして下さい。



関西パテ化工株式会社

大阪本社・東京支店・北九州(営)

本社 / TEL(072)982-2131(代) FAX(072)982-2135
東京 / TEL(03)3850-3191(代) FAX(03)3850-3193
九州 / TEL(093)571-7156(代) FAX(093)571-7159

無塗装外装板目地処理工程

ウレタンパテ・ファイバーテープ使用

工程 1 施工ヶ所清掃

目地部及びその周辺のほこり・ボード粉などをハケ・ウエス等で取り除いてください。

工程 2 セルシールプライマー塗布

セルシールPUプライマーを目地部に塗布して下さい。

工程 3 ファイバーテープ貼り付け

ファイバーテープの中心が目地の中心になる様に貼り付けてください。
(ファイバーテープは幅50mm以上のものを使用下さい)



工程 4 ウレタンパテ充填とヘラしごき(下塗り)

目地部にウレタンパテをファイバーテープの上から押し込むように目地部に充填し、同時にファイバーテープの網目をつぶすようにパテ付けして下さい。※写真では、ならしバッカーを使用しています。



工程 5 ゼロパテ塗布(仕上げ塗り)

仕上げ塗材が薄膜の場合はこの工程は不要

- ・ゼロパテは仕上げ塗材が薄膜の場合のみ使用(膜厚約1mm以下)
- ・パテあとを目立たなくするため可能な限り幅広くパテ付けして下さい。
- ・ゼロパテは乾燥が早いのでスピーディに作業を進めて下さい。
又、ヘラ先に付いたパテが乾燥し線を引きことがありますので、ヘラ先を濡れウエス等で時々拭き取って下さい。
- ・ゼロパテは完全乾燥すると研磨性が極端に悪くなりますので、指触乾燥後(常温1~2時間) 研磨することをお勧めします。



工程 6 仕上げ材塗布

各仕上げ材メーカー施工要領に準ずる。

ZERO PUTTY
ゼロパテ
水性パテ

工程イメージ図

